

平成 25 年 10 月 20 日(日)

南日本新聞掲載

「専門高校パワーアッププロジェクト」オリジナルパン開発中

串良商高発パン

鹿屋市串良の串良商業高校生が、同市や志布志市などでパン菓子を製造販売する「SUMOMO」と連携し、地元の特産品や大崎町の有明高校の農産物を使ったオリジナルのパン開発に取り組んでいる。串良商業高の生徒は、11月の一般販売開始に向け、志布志市の同店で試作を重ねている。

来月から一般販売

ピーマンや芋活用



同校が地域と連携し、活性化を図る「大隅コミュニティプロジェクト」の一環。県からかこしま専門高校パワーアッププロジェクトに指定されている。生徒8人は8月上旬、オリジナルのパンのアイデアを練って、企画書を提出。同店の須百久史代表(49)の協力を得て、各自のアイデアを形にした。串良特産のピーマンを練り込んだ生地にも肉詰めするなど、多彩だったという。

これまで10種類以上を試作した。7種類程度に絞り、11月1日の同校文化祭や同日の同校商業高校3日に指宿商業高校である「指商デパート」、同9日のかのやばら祭りなどに出品する予定。

10月11日は生徒2人が同店で、有明高校の生徒が生産したサツマイモを使って、スイートポテトやタルトを作った。今後、完成したパンの原価計算などをして値段設定なども学ぶ。

須百さんは「飾り気のない素直なお菓子ができていて、若い感性が新鮮。手応えがあるので今後の展開が楽しみ」。串良商業高3年の城戸亜希歩さん(17)、瀬下千宏さん(18)は「素材を生かしたスイーツができた。完売を目指して頑張る」と話した。

(上山智子)

須百久史さんの指導で菓子作りに挑む串良商業高校の生徒ら。志布志市志布志町志布志